

あぷろうち

～ approach ～



日本労働組合総連合会
群馬県連合会（連合群馬）

発行人 阿部和彦
編集人 小川 剛

〒379-2166
群馬県前橋市野中町361番地の2
(群馬県勤労福祉センター2F)
TEL.027-263-0555 (代)
FAX.027-261-0549
Eメール : info@gunma.jtuc-rengo.jp
URL : http://www.rengo-gunma.gr.jp/

2009年新年号
No.168



連合群馬

会長 大橋 豊

新年あけましておめでとうございます。

連合群馬構成組織・地域協議会の役員・組合員の皆さんは、ご家族お揃いで健やかな新年を迎えられていること、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より連合群馬の諸活動に対しまして、絶大なるご支援とご協力、さらにはご指導を頂いておりますことに感謝申し上げます。

米国のサブプライムローンに端を発した深刻な金融危機は、全世界的な景気後退を引き起こし、個人消費マインドを冷え込ませ、さらに景気を後退させるという悪循環を呈しています。今年はこの不況と向き合う厳しい1年となりそうです。

将来に向かって、地域経済を活性化させていくためには、行政はもとよりそれぞれの労使が目的意識を共有し、組織が持てる力を最大限に発揮し、苦境を乗り越えていくことが重要だと考えます。

連合群馬は、先の定期大会で確認された諸活動を、経営者協会をはじめ、群馬県や労働局など関係する機関とさらに連携し、その重要性、緊急性を意識して展開して参りたいと考えておりますので、引き続きのご協力をお願い申し上げます。

昨年を振り返ると、日本の良き文化、伝統であった“安全で平和な国”はどこへ行ってしまったのか…と思うわせるほど、凶悪犯罪や我々生活者では防ぎようのない食に関する事件・事故が多発しました。このような時代だからこそ、国民一人ひとりが真剣に将来の日本を考え、行動しなければならぬと感じるところです。

政治不信も国民の間で根深くなっている現状からすれば、本年早々に実施される群馬県議会補欠選挙、前橋市議会議員選挙をはじめ、第45回衆議院議員選挙で確実に政権交代を実現させることが重要な課題です。そのためにも、それぞれが自らの組織を点検し、来るべき時に役割と責任を果たせるよう準備を進めて頂きたいと思っております。

私たちの基本目標である、「すべての県民が安心して暮らせる地域社会の実現」に向け、産別・地協と一体感を持って活動を前進させることが、勤労者・組合員の幸せづくりにつながるものだと考えます。本年も変わらぬご理解・ご協力をお願い申し上げ、年頭の挨拶と致します。



(社)群馬県経営者協会

明けましておめでとうございます。 会長 牛久保 雅美

皆様には健やかなる新春を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から群馬の労使関係の安定にご理解、ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年は激動の年となりました。米国発のサブプライム問題は、欧米を中心とする金融危機に発展し、世界経済は急速に後退色を強め、日本経済にも深刻な影響をもたらしました。今回の経済減速は、なかなか底が見えず、この状況はしばらく続くものと予想されています。

一方、相変わらず産地や製品の偽造、農薬や有害物質の混入などが次々と発覚し、コンプライアンスや企業倫理が厳しく問われた年でもありました。失った信用を取り戻せず、市場からの退場を余儀なくされた企業もありました。

昨年の県内景気は、前半は原材料価格の高騰などがありましたが、好調な輸出に支えられ、比較的順調に推移してまいりました。しかし、9月以降、急速に冷え込んだ世界経済の影響を受け、業界によっては既に生産調整や雇用調整を余儀なくされるなど様相は一変しました。世界規模での生産量の減少は、更なる影響を県内企業に与えるものと予測されます。労使にとって、多事多難な年となりそうです。

企業倒産が急増するなど、企業を取り巻く環境は一段と厳しさを増し、生き残りをかけたかじ取りが求められます。こういった状況下では、労使が自社の経営課題や目標を共有し、一体感を持って取り組まなければなりません。労使で知恵を出し合い、変化の方向を見定め、スピードと柔軟性を持った対応が求められます。

労使関係は対立から相互信頼へと変わりました。労使の力を結集し、これらの問題を解決していかねばならないと思っております。連合群馬の皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

結びに、皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

